

開会中の常任委員会審査報告

総務文教常任委員会

委員長 今村定一

3月7日

(議案6件・発議1件・請願1件)
※主なもの(詳細は表決結果参照)

湯沢町課設置条例の一部を改正する条例の制定

企画政策室ができます

問 町長の公約である企画政策室の業務は、各課調整協力といった具体的な考えがあるのか。

答 企画政策室は総合的役割を果たすので、各課との連絡調整役を担う。

問 企画政策室の役割は総合計画などを考え、それを核として各課が実務を行うということか。

答 内容は具体的には決まっていないが、考え方はそのように思っている。

湯沢町入湯税条例の一部を改正する条例の制定

(入湯税の課税免除)

(1) 小学生以下の者

(2) 中学校・高等学校・中等教育学校

または特別支援学校が教育活動の環境として実施する修学旅行その他の学校事業に参加し入浴する者

厚生福祉常任委員会

委員長 佐藤守正

3月7日

(議案4件)
※主なもの
(詳細は表決結果参照)

湯沢町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定

全員賛成・可決

病院の診療等に関わる料金で、消費税が課せられる部分が「100分の105」から「100分の108」に改める。

問 どんな時に消費税がかかるのか。

答 診療報酬にはかからないが、人間ドックやワクチン接種費用などにかかる。

平成25年度病院事業会計補正予算

全員賛成・可決

病院事業会計が最終的に4500万円の赤字となりそうであるため、4000万円を補てん

するもの。

問 患者数推移の一覧を見ると、訪問リハビリだけは増えているが、外来・入院患者数は減っている。どう考えたらいいのか。

答 湯沢町の人口からして90床というのは、基本的に大きすぎるのかもしれない。病院としては頑張っているのは事実である。

問 看護師の数が増えると診療報酬が上がるが、看護師は充足しているのか。

答 恒常的に募集はしているが集まらない。基幹病院ができるので、ますます不足するだろう。

問 病院を開設した当時とは周囲の状況が大きく変わっている。病院の努力とは別の次元の問題で、赤字がでているのではないのか。病院の今後について議論する必要があるので。

答 湯沢町病院管理者協議会でも、長期的な課題についても話し合う。

産業建設常任委員会

委員長 関 忠夫

3月10日

(議案5件)
※主なもの(詳細は表決結果参照)

湯沢町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定

全員賛成・可決

使用料は使用者が排除した汚水量に1・08を乗じた額に改定する。

問 水道水以外を下水に流す場合の料金は。

答 流す側にメーターを付ける。

平成25年度下水道特別会計補正予算

事業が終わり補助金の額も確定し、5301万円を減額するもの。

問 土樽松川浄化センターの長寿命化計画補正の意味は。

答 その施設についてのみの計画です。

問 受益者負担の減額は考えられぬか。
答 遅れてつないだ人が得をする制度は考えられない。

